

### ■タイ：政府が新規原子力発電所の建設サイト候補を選定

2010年9月21日付地元紙によると、タイ政府は先週、バーンズ・アンド・ロウ・アジア社をコンサルタントとして実施したタイ初の原子力発電所のための原子力炉技術、原子炉供給事業者、サイト選定、核燃料サイクルと廃棄物管理、人材育成計画などについてのフェージビリティ・スタディの結果を発表した。その中で、建設サイトとして、タイ東部のラオスに近いウボン・ラチャタニ県とバンコク北方200kmのナコーン・サワン県が選定された（注：サイト数は不明）。また、候補地として検討対象とされた、マレー半島のナコーン・シー・タマラート県とスラー・タニー県にある3サイトについては、地元の強い反対により除外された。今後、原子力開発計画は承認を得るため2011年初めに政府に提出されることになる。2010年3月に承認された「2010-2030年の電源開発計画（PDP2010）」では、5基、500万kWの原子力発電所を2020-28年に運転開始する計画となっている。なお、エネルギー省の下部組織として2008年1月に3年の時限で設置された原子力発電計画開発局に追加予算を付けて存続させ、一連の原子力開発計画を進めることになる。